

## 事例紹介

## 新築時に同時に設置でスマート化

事業所名称	おおすみ半島スマートエネルギー(株)	施設概要	パネル：19.0kW    パワコン：15kW    蓄電池：13.5kWh
施設名	本社	電力用途	平常時：事務作業（照明、空調、PC）に使用 停電時：事務作業（照明、空調、PC、サーバーなど）に使用
所在地	肝付郡肝付町新富	発電開始	令和4年1月

取組のきっかけ	経費削減や緊急時（BCP）の対策のために取り組んだ。（メーカー等からの営業を受けたことによるものではない）
事業の取組方法	自家消費用に太陽光発電設備及び蓄電池を整備した。 太陽光パネルは事務所の屋根に設置。 自社（おおすみ半島スマートエネルギー）と売（買）電契約を締結、FIT契約は無し。
事業の成果	電気使用料そのものの削減とともに、ピークカットでデマンドが抑えられる。 停電時も電力が使用できる。 環境への負荷の低減が図られる。
課題	特になし
今後の展開	今後は、事業として営農型、PPA、リースなどで普及を図っていきたい。ヤマサハウスが関連会社であるため、住宅販売と併せた太陽光発電の普及を進めていけたらと考えている。

### 年間増収効果

約50万円  
(発電電力から推計)

### 年間CO2削減量

11.6トン  
(発電電力から推計)

### 注目ポイント

- ・新築時にパネルを設置することも前提に施設設計したため、効率もよく、デザインも良好。
- ・新電力会社として余剰分を自社の商品に活用



↑  
太陽光パネル（事務所屋根）



↑  
蓄電池